



ふるさと黒木

八女市立黒木小学校

文責 校長

令和7年10月29日

じゅうてんもくひょう じぶん かんが つた あ こ いくせい
【重点目標】「自分の考えを伝え合う子どもの育成」

「ひまわりの花運動」感動状贈呈式と感動エピソード

先日、10月9日に人権擁護委員会主催の「ひまわりの花運動」感謝贈呈式が行われました。

「ひまわりの花運動」は、子どもたちが協力して一つの命を育む体験を通して、命の大切さや思いやりの心を学ぶ大変有意義深い活動です。本年度、本校の3年生の子どもたちが人権擁護委員会の皆様にご指導いただきながら、小さなひまわりの種を大切にまきました。それから毎日の水やりや観察を欠かさず育てて、ひまわりはとても大きく成長しました。太陽に向かってまっすぐ伸びるひまわりの姿は、「明るく、優しく、たくましく」生きる大切さを教えてくれました。



～熊本県からの心温まるお手紙～

贈呈式の後、3年生が育ててきたひまわりの種にメッセージを添えて風船で飛ばしました。その一つが、遠く離れた熊本県に届いたとお手紙をいただきました。その一部を紹介します。

こんにちは。私は、熊本県玉名市に主人と二人で暮らしています。実は、先週の金曜日（10月10日）の夕方ごろにかわいらしいメッセージとひまわりの種の風船が届きました。思いがけない贈り物に二人で感動しました。ありがとうございます。

私事ですが、一昨年の10月に突然息子を亡くして、風船が届いた翌日に三回忌を予定しておりました。大空を飛んで、息子が会いに来てくれたようで、胸がいっぱいになりました。黒木小の3年生が育てた大切なひまわりの種を大事に育てようと思います。

これからも黒木小学校の皆様の健やかな成長を願っております。

この「ひまわりの花運動」と偶然にも風船が届いた熊本県の方からの心温まるお手紙は「明るく、優しく、たくましく」生きる人権尊重の精神を私たち教職員にも改めて教えてくれました。

子どもたちの思いやりや行動が、誰かの心を深く癒し、励ます力になることを実感できたことは、何にも代えがたい貴重な学びです。3年生をはじめ、本校の子どもたちの健やかな成長は、日頃よりご家庭の皆様や地域の皆様が温かく見守り、支えてくださっているおかげにほかなりません。この場を借りて心より御礼申し上げます。

引き続き、子どもたちが互いを認め合い、協力して成長できるよう、今後とも変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い致します。

